必ずフォーマットしよう（PC-9800シリーズ）

PC-9800シリーズで使用する場合のフォーマット（初期化）方法などを説明しています。

フォーマット時の注意

- OS付属のフォーマッタの使いかたは、OSのマニュアルで確認してください。
- 問題が発生したときやパソコンの環境設定を行うために、OSの起動ディスクを作成してください。作成方法は、各OSのマニュアルやヘルプを参照してください。
- フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチをOFFにしたり、リセットしないでください。
ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。
- 本書に記載している実行例は、あくまでも参考のためのものです。フォーマットするときは、必ず使用しているOSのマニュアルを参照してください。
- フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。
フォーマットはお客様ご自身の責任で行うものです。誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、また、ドライブ名は何か必ず確認しておいてください。

OSによる制限

本書に記載されているハードディスク容量は、1GB＝1000³byteで計算しています。OSやアプリケーションでは1GB＝1024³byteで計算されているため、表示される容量が異なります。

OS	制限事項
Windows98、 Windows95(4.00.950 B)	ファイルシステムにFAT32を選択できるため、2.1GBを超える容量の領域（パーティション）を作成できます。ただし、FDISK実行時にFAT16を選択した場合、1領域あたりの最大容量は2.1GBとなります。 ※大容量ディスクのサポートを使用した場合【P54】
Windows95(4.00.950/4.00.950a)	ファイルシステムにFAT16を採用しているため、ハードディスクに複数の領域を作成して使用する必要があります。1領域あたりの最大容量は2.1GBとなります。
Windows2000	ファイルシステムにFAT32を使用する場合、1領域あたりの最大容量は32.7GB(32700MB)となります。 ※使用するファイルシステムについて【P60】
WindowsNT4.0/3.51	OSのインストール時に起動用の領域に割り当てられる容量は、最大4.3GBです。その他の領域はファイルシステム【P63】にNTFSを使用することで、4.3GBを超える容量の領域を作成できます。
Windows3.1、MS-DOS	ファイルシステムにFAT16を採用しているため、ハードディスクに複数の領域を作成して使用する必要があります。1領域あたりの最大容量は2.1GBとなります。 1つのドライブで同時に使用できる容量は、すべての領域を併せて8.4GB(4つの領域)までです。

※ Windows95のバージョンは、「使用上の注意」【P29】を参照して確認してください。

※ FAT16とFAT32の違いについてはP54を参照してください。

Windows98/95でのフォーマット（本製品を起動用にしない場合）

本製品を起動用にしない場合は、付属CDに収録されている「Disk Formatter」を使用してフォーマットします。

⚠注意
- **Disk FormatterはWindows98/95用です。Windows2000/NT4.0/NT3.51/3.1、DOSでは使用できません。**
- **Disk Formatterでフォーマットした領域は「ACTIVE-BOOT不可」となります。Disk Formatterでフォーマットした領域からOSを起動するには、付属のPartition Activatorを実行して、領域の状態を「ACTIVE-BOOT可」に変更する必要があります。**
- **Windows95を使用している場合、SCSI BIOSを搭載していないSCSIインターフェース（ノート用PCカード、弊社製IFC-NSPなど）では、8.4GBを超える容量を使用できません。**

次の手順でDisk Formatterをインストールします。

パソコンのCD-ROMドライブに付属CDをセットする

▼

インストーラが起動したら、DFボタンをクリックする

▼

画面の指示に従ってインストールする

以上でインストールは完了です。

［スタート］－［プログラム(P)］－［MELCO DISK FORMATTER］－［DISK FORMATTER］の順に選択すると、次の画面が表示されます。

⚠注意 フォーマットするドライブを間違えないでください。

① フォーマットするドライブを選択します。

② フォーマットする空き領域を選択します。

③ ［ファイルシステム］と［サイズ］を設定します。

④ 必要に応じて［ボリュームラベル］を入力します。

⑤ ［フォーマット(F)］ボタンをクリックします。

メモ 詳しいインストール手順や使用例は、別冊「付属CDの使いかた」を参照してください。

⚠注意 フォーマットが終わったらパソコンを再起動する必要があります。再起動後、本製品が使用可能になります。

Windows98/95でのフォーマット（本製品を起動用にする場合）

本製品にWindows98/95をインストールする手順は、パソコンの環境によって異なります。パソコン本体やWindows98/95のマニュアルに記載された手順に従ってインストールしてください。ここでは、Windows98/95付属のFDISKを使って本製品に領域を作成してから、Windows98/95をインストールする手順を説明します。

⚠注意
- 事前に、パソコンおよびWindows98/95のマニュアルに記載されている、ハードディスクのフォーマットやWindows98/95のインストールに関する項目を、必ず参照してください。
- ここでは起動ディスクからFDISKを実行し、領域を作成する手順を説明します。パソコンまたはWindows98/95に付属する起動ディスクを用意してください。起動ディスクがない場合は、パソコンまたはWindows98/95のマニュアルを参照し、作成してください。
- Windows95付属のフォーマッタは、8.4GBを超える容量のハードディスクをフォーマットできません。8.4GBを超える容量のハードディスクは、付属のCD-ROMに収録されている「Disk Formatter」でフォーマットしてください。
- 本製品にWindows98/95をインストールする場合、付属CDに収録されている「Disk Formatter」は使用できません。
- 既存の起動用ハードディスクの内容を本製品にコピーする場合は、付属CDに収録されている「DriveCopy」を使用してください。【別冊「付属CDの使いかた」参照】
- SCSI BIOSを搭載していないSCSIインターフェース（ノート用PCカード、弊社製IFC-NSPなど）では、SCSIハードディスクを起動ドライブとして使用できません。

手順の概要

1 起動ディスクからパソコンを起動し、FDISKを起動する【P54】

▼

2 新しいMS-DOS領域を任意の容量で作成する【P56】

▼

パソコンを再起動する

▼

Windows98/95をインストールする

1 FDISKの起動

1 **Windows98/95の起動ディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。**

2 **周辺機器(本製品を含む)→パソコンの順に電源スイッチをONにします。**

MS-DOSプロンプトが起動します。

3 **FDISKと入力し、<Enter>キーを押します。**

Windows98、Windows95(4.00.950 B)を使用しているとき

「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」と表示されます。

```
512 MB以上のディスクがあります.

このバージョンの Windows では，このような大容量ディスク
のサポートが強化され，より効率のよいディスク利用やより
大きな領域の定義ができるようになりました。 古いバージョ
ンの MS-DOS，Windows，ディスク ユーティリティなどはこの
大容量ディスク サポートを使用して作成された領域にはアク
セスできません.

複数のオペレーティング システム，または異なるバージョンのオペレーティング
システムをデュアル ブートする場合は，このサポートは使用しないでください.


大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか (Y/N)...........? [ ]
```

1つの領域で確保する容量が2.1GB以上のときは、<Y>キーを押してから<Enter>キーを押します。2.1GB以下のときは、 <N>キーを押してから<Enter>キーを押します。
FAT32に非対応のアプリケーションを使用するときは、<N>キーを押してください。

FAT16とFAT32の特徴

FAT16とFAT32には、それぞれ次のような長所と短所があります。

FAT16	長所	Windows95(4.00.950/4.00.950a)、WindowsNT、Windows3.1、DOSでも使用できる。
	短所	・1つの領域として確保できる容量は最大2047MBまで。 ・確保する容量が大きくなるとクラスタサイズも大きくなり、ディスクの使用が非効率的になる。
FAT32	長所	・クラスタサイズがFAT16よりも小さく、ディスクを効率的に使用できる。 ・1つの領域として2047MBを超える容量を確保できる。
	短所	・Windows95(4.00.950/4.00.950a)、WindowsNT、Windows3.1、DOSなどでは使用できない。 ・確保する領域が512MB以下のときは、FAT16としてフォーマットされる(FAT32としてはフォーマットできません)。

フォーマットするハードディスクの選択とハードディスク環境の確認

1

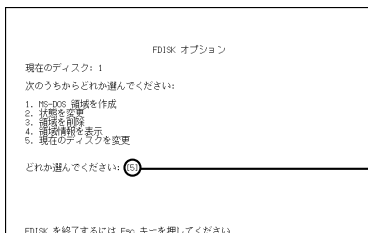
FDISK オプション

現在のディスク: 1

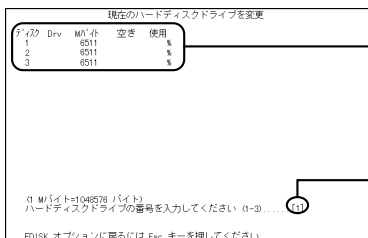
次のうちからどれか選んでください:

1. MS-DOS 領域を作成
2. 状態を変更
3. 領域を削除
4. 領域情報を表示
5. 現在のディスクを変更

どれか選んでください: [5]

FDISK を終了するには Esc キーを押してください.

5と入力し、 <Enter>キーを押します。

⚠注意 **パソコンに接続しているハードディスクが本製品だけで、本製品を1台のハードディスクとして使う(ノーマルモード)場合は、[5.現在のディスクを変更]は表示されません。そのまま領域を作成してください。****【P56「領域の作成(確保)」】**

2

① 現在パソコンに接続されているハードディスクの状態を確認します。 (*)

② 本製品のディスク番号を入力し、<Enter>キーを押します。
入力した番号のハードディスクが選択され、 領域作成などの操作対象ハードディスク (現在のディスク) になります。

* [ﾃﾞｨｽｸ] .... ハードディスクに割り当てられた番号
[Drv] ....ドライブ名(A:など。未フォーマットの場合は何も表示されません)
[Mﾊﾞｲﾄ] .... 領域の容量
[空き] ....ドライブの空き容量(未フォーマットの場合は何も表示されません)
[使用] ....ドライブの使用率(未フォーマットの場合は何も表示されません)

メモ **この画面は、パソコンに接続されているハードディスクが本製品(3分割)のみの場合です。初めて本製品を使用する場合は、領域を作成するためにまず1を入力します。**

⚠注意 **本製品以外のハードディスクも接続している場合は、誤って他のハードディスクを選択しないように注意してください。**

2 領域の作成（確保）

メモ 本製品を起動用にしないときは、付属CDに収録されている「Disk Formatter」でフォーマットしてください。【P52】

1

2

3

4 **作成する領域の数だけ 1～3 を繰り返します。**

5 **すべての領域を作成したら、<ESC>キーを押します。**

領域の削除

領域を作成し直すときは、既存の領域を削除します。

1 **[4.領域情報を表示]を選択します。選択しているドライブの領域情報が表示されるので、削除しても構わない領域であることを確認します。確認したら、<ESC>キーを押します。**

2 **[3.領域を削除]を選択します。**

3

4

① ドライブ名を入力し、 <Enter>キーを押します。

② Yを入力し、 <Enter>キーを押します。

領域が削除されます。

領域の作成が終わったら

FDISKを終了し、Windowsをインストールします。

メモ 本製品を分割した場合は、分割した各ドライブに領域を作成してください。

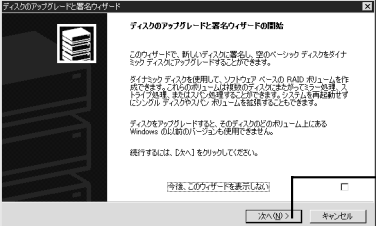
※ Windows98/95をインストールした後に、付属CDに収録されている「Disk Formatter」を使って領域を作成することもできます。

1 **すべての領域を作成できたら、<ESC>キーを押します。**

FDISK画面に戻ります。

2 **再度<ESC>キーを押します。**

FDISKが終了します。

3 **パソコンを再起動し、Windows98/95をインストールします。**

メモ Windows98/95のインストールについては、パソコンまたはWindows98/95のマニュアルを参照してください。

Windows2000でのフォーマット

1 **周辺機器→パソコンの順に電源スイッチをONにします。**

2 **デスクトップ画面の［マイ コンピュータ］アイコンにマウスのカーソルを合わせ、右ボタンをクリックします。**

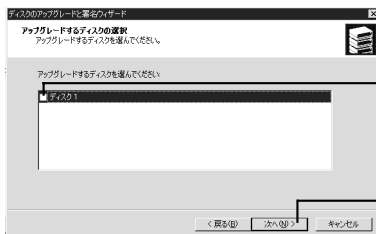
3 **メニューが表示されたら［管理(G)］をクリックします。**

4

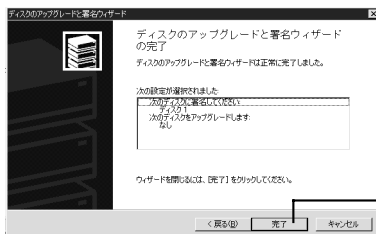
5 **Windows2000で初めて使用するハードディスクドライブの場合は、次の［ディスクのアップグレードと署名ウィザード］ウィンドウが表示されます。**

6 **署名するディスクを選択します。**

次のページへ続く

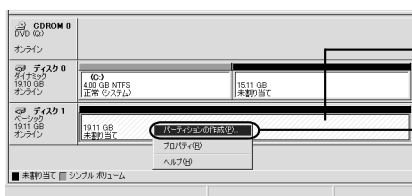
7 続いてアップグレードするディスクの選択画面が表示されます。

①ディスクをクリックしてチェックマーク（✓）を外します。（例：ディスク1）

② ［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

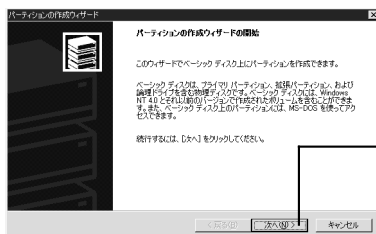
8

［完了］ボタンをクリックします。

9

未割り当て領域が作成されます。

10

① 未割り当て領域にマウスのカーソルを合わせ、右ボタンをクリックします。

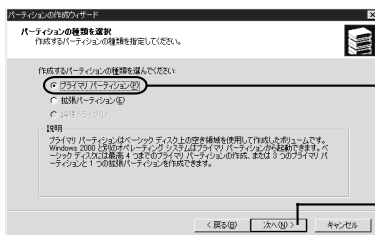
② メニューが表示されたら［パーティションの作成(P)］をクリックします。

11

［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

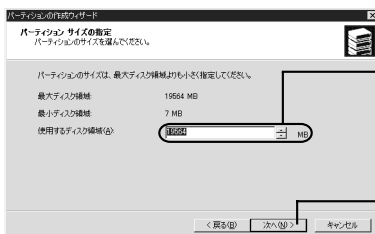
次のページへ続く

5

必ずフォーマットしよう（PC-9800シリーズ）

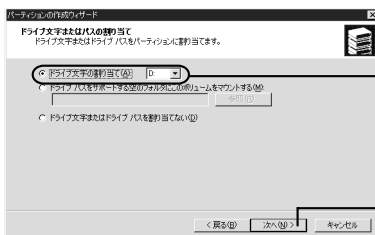
12

① ［プライマリパーティション(P)］をクリックして、 チェックマーク（・）を付けます。

② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

13

① ［使用するディスク領域(A)］でサイズを指定します。

※ サイズを変更する必要がない場合は、初期設定のまま最大値で確保します。

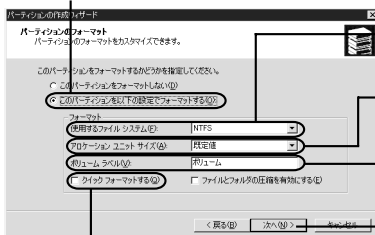
② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

14

① ［ドライブ文字の割り当て(A)］で割り当てるドライブ名を指定します。

※ 特に設定を変更する必要がなければ、初期設定のままにしてください。

② ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

15 フォーマット方法などを設定します。

① ［このパーティションを以下の設定でフォーマットする(O)］をクリックして、 チェックマーク（・）を付けます。

必要に応じて［使用するファイルシステム(F)］を変更します。（※）

［アロケーションユニットサイズ(A)］は特に問題のない限り、 初期設定のまま使用します。

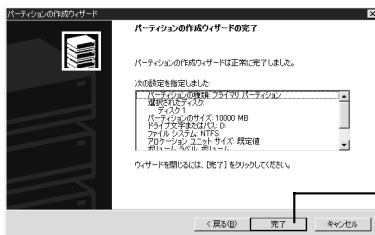
必要に応じて［ボリュームラベル(V)］を入力します。

② 各項目を設定したら、 ［次へ(N)>］ ボタンをクリックします。

［クイックフォーマットする(Q)］にチェックマーク（✓）を付けると、クイックフォーマットを行います。 フォーマット時間が短縮されます。

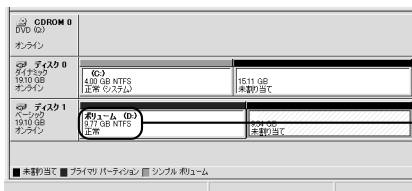
※ Windows2000だけで本製品を使用する場合は、［NTFS］を選択してください。
マルチブート環境などで他のOSからアクセスするパーティションの場合は、［FAT］を選択してください。
ファイルシステムに関する詳細は、Windows2000のヘルプを参照してください。

次のページへ続く

16

［完了］ボタンをクリックします。

フォーマットが始まり、進行状態が%表示されます。

メモ
- クイックフォーマット実行時は、%表示はされません。
- フォーマットを中止する場合は、右クリックして表示されたメニューで［フォーマットの中止(F)］をクリックします。

17

フォーマットが正常に終了すると、ボリュームラベルとパーティションに加えて、「正常」と表示されます。

本製品を初めてフォーマットする場合

「ボリュームは開かれているか、または使用中です。要求を完了できません。」というメッセージが表示されることがあります。

その場合は［OK］ボタンをクリックし、作成したパーティションを次の手順でフォーマットしてください。

① 作成したパーティションを右クリックして［フォーマット(F)］を選択します。

② 必要に応じてボリュームラベルやファイルシステムを設定し、［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

※［クイックフォーマットする(Q)］にチェックマーク(✓)を付けると、クイックフォーマットを行います。フォーマット時間が短縮されます。

③ 以降は画面のメッセージに従って操作します。

以上でパーティションのフォーマットは完了です。

WindowsNT4.0/3.51でのフォーマット

WindowsNT4.0/3.51を使用しているときのフォーマット手順を説明します。

⚠注意 **フォーマットするときは、必ずOSのマニュアルを参照してください。**

1 **周辺機器（本製品を含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにし、WindowsNT4.0/3.51を起動します。**

2 **［ｽﾀｰﾄ］－［ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ(P)］－［管理ﾂｰﾙ(共通)］－［ﾃﾞｨｽｸｱﾄﾞﾐﾆｽﾄﾚｰﾀ］を選択します。**
WindowsNT3.51の場合は、［管理ツール］グループの［ディスクアドミニストレータ］をダブルクリックしてください。

⚠注意 **表示されたドライブ構成を把握してから作業してください。誤って他のハードディスクをフォーマットしないように注意してください。**

本製品を新たに増設した場合

「ｼｽﾃﾑ構成を更新します。」というメッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックします。

3 **［ﾃﾞｨｽｸｱﾄﾞﾐﾆｽﾄﾚｰﾀ］が起動します。本製品のドライブをクリックします。**
追加したドライブが表示されないときは、SCSIインターフェースボードのドライバは正しくインストールされているか、SCSIケーブルは正しく接続されているか確認してください。【SCSIインターフェースボードのマニュアル参照】

4 **メニューバーから［ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ(P)］－［作成(C)］を選択します。**

5 **［ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝの作成］ダイアログボックスが表示されます。作成するパーティションのサイズを入力して［OK］ボタンをクリックします。**
WindowsNT3.51の場合は［プライマリパーティションの作成］ダイアログボックスが表示されます。

6 **メニューバーから［ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ(P)］－［今すぐ変更を反映(O)］を選択します。**
WindowsNT3.51の場合は［パーティション(P)］－［直ちに変更を反映(O)］を選択してください。

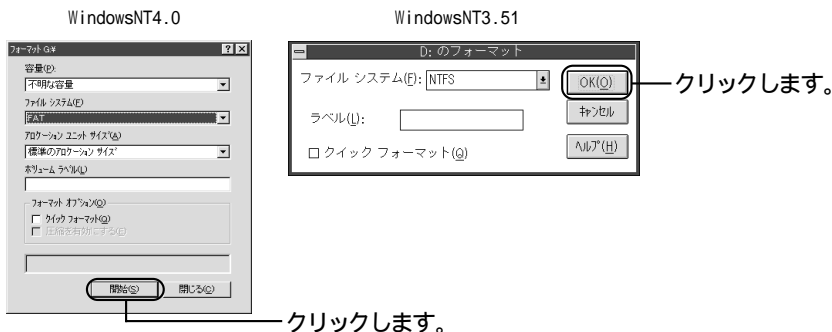
7 **「ﾃﾞｨｽｸ構成を変更しました。変更結果を保存しますか?」というメッセージが表示されたら［はい(Y)］ボタンをクリックします。**

8 **「ﾃﾞｨｽｸは正常に更新されました。」というメッセージが表示されたら［OK］ボタンをクリックします。**

9 **フォーマットするパーティションを選択した後、メニューバーから［ﾂｰﾙ(T)］－［ﾌｫｰﾏｯﾄ(F)］を選択します。**

次のページへ続く

10 各項目を設定し、[開始(S)]ボタン(WindowsNT3.51の場合は[OK]ボタン)をクリックします。

WindowsNT4.0/3.51だけで本製品を使用するときは、[NTFS]を選択してください。
WindowsNT4.0/3.51以外のOSにも認識させたいときは、[FAT]を選択してください。

11 「フォーマットが完了しました。」というメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

WindowsNT3.51の場合は[フォーマット完了]ダイアログボックスが表示されます。

以上でWindowsNT4.0/3.51でのフォーマットは終了です。
正常にフォーマットされると、本製品がドライブとして認識されます。

・WindowsNT4.0の場合 .... 作成した領域が、[マイコンピュータ]に新しいドライブとして追加されています。
・WindowsNT3.51の場合 ...... 作成した領域が、[ファイルマネージャ]に新しいドライブとして追加されています。

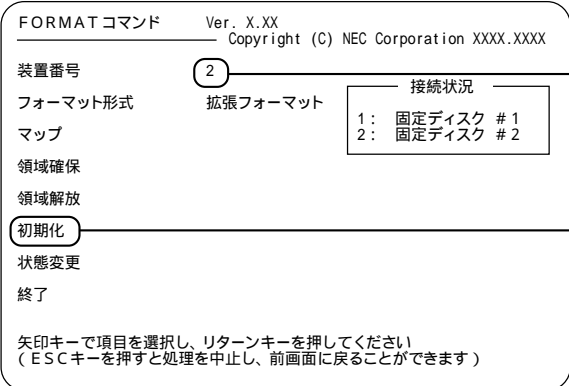
Windows3.1、MS-DOSでのフォーマット

Windows3.1、MS-DOSに付属のフォーマッタFORMAT.EXEを使用したフォーマット手順の概略を説明します。

⚠注意 フォーマットする際は必ずOSのマニュアルを参照してください。

フォーマットの前に

誤って他のハードディスクをフォーマットしないように、次の方法で事前に現在のドライブ構成を把握しておいてください。

- Windows3.1 .... [ファイルマネージャ]で表示されているドライブアイコンで知ることができます。
- MS-DOS .... DIRコマンドでアクセス可能なドライブから知ることができます

※ 接続した本製品はフォーマット後に認識されます。フォーマット前は本製品は認識されていません。

フォーマット手順

⚠注意 次の手順は、NEC製MS-DOS 6.2のFORMAT.EXEを使用した場合のものです。他のOSを使用しているときは、OSの定めるフォーマッタを使用してください。

1 **周辺機器（本製品を含む）→パソコンの順に電源スイッチをONにし、MS-DOSを起動します。**

MS-DOSのプロンプトが表示されます。

2 **FORMAT /H と入力し、<Enter>キーを押します。**

FORMAT.EXEが起動します。

3

4 **「装置全体を初期化します。よろしいですか」というメッセージが表示されます。［はい］を選択します。**

初期化には数分から数十分かかります。初期化中はパソコンの電源スイッチをOFFにしないでください。

5 **「装置の初期化を終了しました」というメッセージが表示されたら、<Enter>などの任意のキーを押します。**

FORMATコマンドメニューに戻ります。

6 **［領域確保］を選択します。**

次のページへ続く

7

② ［実行］を選択します。必要に応じて［システム］や［ボリュームラベル］などの項目も設定します。

① ［確保容量］に確保したい領域のサイズをMB数で入力します。

⚠注意 1つの領域として確保できる容量は2047MBまでです。

8 「何かキーを押してください」というメッセージが表示されたら、<Enter>などの任意のキーを押します。

FORMATコマンドメニューに戻ります。

9 確保したい領域が複数あるときは、手順 6 ～ 8 を繰り返します。

領域の確保が終了したら、［終了］を選択します。

10 パソコンを再起動します。

以上で本製品のフォーマットは終了です。

正常にフォーマットされると、本製品がドライブとして認識されます。

- Windows3.1の場合 ..... 作成した領域が、［ファイルマネージャ］に新しいドライブとして追加されています。
- MS-DOSの場合 .... DIRコマンドで作成した領域（ドライブ）の情報を確認できるようになります。

メモ 本製品を再度フォーマットするときは、各OSのマニュアルを参照してください。